



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間

【10/1 ~ 12/1】

札幌市立円山学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

朝の読書タイム

朝の会の後の15分間、静かに本を読む読書タイムを行っています。静かな中で、一人一人がじっくりと本に向きます。

読書への親しみや、落ち着いた1日のスタートにつながる大切な時間です。

「移動図書館」の取組

ブックタイム委員会の児童が、たくさんの児童に図書に親しんでほしいというねらいをもって、「移動図書館」の取組をしました。ブックトラックに、ぜひ読んでほしいおすすめの本を載せ、各教室のワークスペースに置いて本の紹介をしました。中休みに、ブックトラックの本を手に取って「面白そう。」と興味をもつ姿や、「続きを読みたいかな。」と図書室へ足を運ぶ姿など、本への関心が高まっている様子が見られました。



情報センターとしての機能

学習資料として利用したい本のアンケート

児童の活動を支援したり、先生方の授業を支えたりするために、毎年、学習資料として利用したい本や教科や単元名などについて、担任や保健室の先生に年度当初にアンケートを取り、図書館資料の利用促進を図っています。今年度は、図鑑の新調、1年生「つぼみ」の学習に関連する本、2年生「ロボット」の学習に関連する本などを購入しました。

学習センターとしての機能

生活科「めざせ 生き物はかせ」

2年生の「めざせ 生き物はかせ」の学習で、サンショウウオを飼育するために必要なことや、体の特徴などを、本や図鑑を使って調べました。「サンショウウオは15度くらいが過ごしやすいから、こんなに暑い教室に置いておけないね。」「本に書いてあったように、ピンセットを揺らすと餌を食べてくれたよ。」と、分かったことを生かしてサンショウウオに親しむ姿が見られました。